

# 『英語コーパス研究』投稿規定

(2023年5月改定)

## 1. 投稿資格

投稿は会員に限る。共著の場合，第一著者は会員であることとし，その他の共著者については会員でなくてもよい。

## 2. 原稿の種類と長さ

### 【研究論文】

英文 A4 サイズ 1 ページあたり 35 行（文字数の指定はしない），周囲の余白 1 インチ（25.4mm），投稿時 17 ページ以内（Times New Roman 10.5 ポイント使用）

和文 A4 サイズ 1 ページあたり 35 行（文字数の指定はしない），投稿時 17 枚以内（明朝体フォント（游明朝・ヒラギノ明朝など）10.5 ポイント使用）

※和文中の英文のフォントについては Times New Roman を原則とする。Century は用いてはならない。

いずれも Abstract（英文 300 語以内），図表，注，参考文献目録，付録，謝辞，著者情報などを含む。

### 【研究ノート，総説論文・書評論文（Review article, Book review）】

- ・研究ノート：論文のカテゴリーに属さない小論文や萌芽的な研究，新しい研究開発の成果などをまとめたもの
- ・総説論文：体系的かつ網羅的に先行研究をまとめたもの
- ・書評論文：専門書の研究分野への貢献と課題点を明確にしたもの

英文 A4 サイズ 1 ページあたり 35 行（文字数の指定はしない），周囲の余白 1 インチ（25.4mm），投稿時 12 ページ以内（Times New Roman 10.5 ポイント使用）

和文 A4 サイズ 1 ページあたり 35 行，投稿時 12 枚以内

（明朝体フォント（游明朝・ヒラギノ明朝など）10.5 ポイント使用）

※和文中の英文のフォントについては Times New Roman を原則とする。Century は用いてはならない。

いずれも Abstract (英文 300 語以内), 図表, 注, 参考文献目録, 付録, 謝辞, 著者情報などを含む。

【その他 (ソフトウェアレビュー, 書評 (図書紹介), コーパス紹介など)】

研究論文の半分以内の分量

### 3. 原稿作成時の注意

下記のように投稿者を特定できるような情報, その他, 本人の同定につながると考えられる情報は, 採用決定後の最終原稿に追記するものとし, 投稿時には投稿原稿には記載しないこと。

- (1) 謝辞など
- (2) 「本論は, 英語コーパス学会第 X 回大会において口頭発表した内容に加筆修正を施したものである。」などの文言
- (3) 「筆者が収集し, <https://...> で公開しているデータ…」など, 筆者特定につながる URL 情報など
- (4) 本文中で投稿者自身の研究を言及する場合, 「XXX (2006) で論じたように…」などと記して, 参考文献には当該文献を掲載しないこと。

### 4. 提出方法など

- (1) 下記の (A) 原稿ファイル (Microsoft Word で作成したファイルとその PDF ファイル), (B) 著者情報ファイル, (C) 論文投稿チェックシートの 3 種類のファイルを電子メール添付で提出。(B), (C) については Web 掲載のフォーマットを使用のこと。
- (2) 電子メールの件名 (Subject) は「『英語コーパス研究』投稿原稿 (著者氏名)」とすること。
- (3) 提出先, 締め切り期日等に関しては学会 Web サイトを参照のこと。

#### (A) 原稿ファイル

- a. 提出するファイル名は「原稿題名 (著者氏名)」とすること。
- b. 原稿題名の前に「論文」, 「研究ノート」, 「総説論文」, 「書評論文」, 「コーパス紹介」などの種類を明記すること。
- c. 原稿本体の冒頭には上記種類の別と題名のみを記すこと。

#### (B) 著者情報ファイル: 「著者情報 (著者氏名)」

- a. 和文原稿の場合は英文タイトル, 英文原稿には和文タイトル
- b. 著者氏名 (ふりがな・ローマ字表記)
- c. 所属
- d. 郵便番号・住所・電話番号

e. 電子メールアドレス

(C) 論文投稿チェックシート：「論文投稿チェックシート（著者氏名）」

Web掲載のチェックシートの必要項目すべてに☑を入れること。

5. スタイル

投稿論文は、研究論文、研究ノート、総説論文・書評論文の別、また、和文・英文の別にかかわらず、APA (American Psychological Association) Style の最新版、および「論文投稿チェックシート」に従い執筆することとする。

6. 掲載論文等の電子化

掲載された論文等の著者は、論文等を電子化して学会ホームページで公開することに同意する。

7. 著作権

掲載された論文等の著作権は、本学会に帰属する。本学会は掲載論文等を印刷媒体・電子媒体で公開する権利を有するものとする。ただし、著者が自著論文等を自分のホームページに掲載したり、自著の本に転載したりすることは妨げない。

8. 研究倫理

(1) 投稿にあたっては、下記文書などを参照し、不正行為のないようにすること。

独立行政法人科学技術振興機構『研究者のみなさまへ～研究活動における不正行為の防止について～』 <https://www.jst.go.jp/contract/kisoken/h25/others/h25s805others131120.pdf>

(2) ChatGPTのような大規模言語モデル、および類似のAIツールは、本文校正、資料・文献リストの整理・確認等、他者の助力を受けても著作者の意匠の範囲を超えないと従来みなされてきた使用範囲内にとどめること。